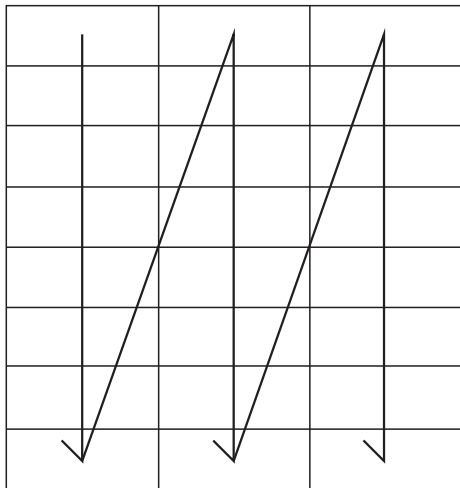


スコアブック読み方

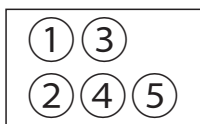
1. 読み方



1 回表①
1 番②・③・③・③・③・③・
↳番②・③・③ ⇒ ④
2 番②・③・③ ⇒ ④

- ①イニング ②打順 (3行目記号は直前の行の続きの意味) ③1球ごとの情報 ④打撃結果

2. 1球ごとの情報



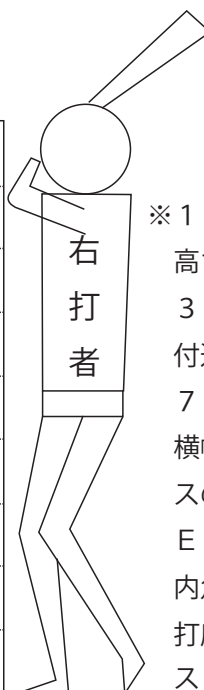
- ①投球結果と直球か変化球か ②投球コース
- ③攻撃側の作戦と打者の反応 ④球種 ⑤打球位置と質

①投球結果と直球か変化球か

- ストライク 1:ストレート
- ボール 2:変化球
- △ ファール

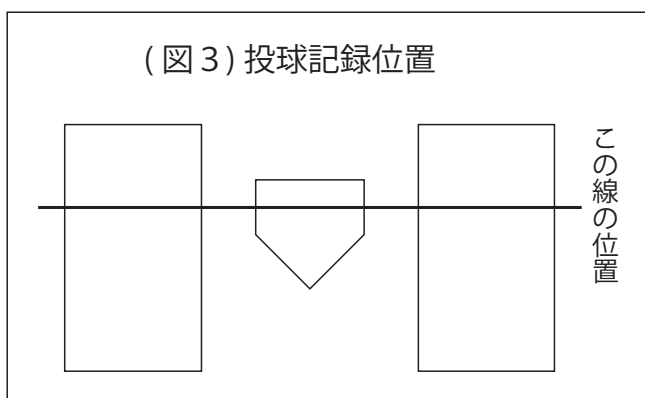
②投球コース

A1	B1	C1	D1	E1	F1	G1	H1	I1
A2	B2	C2	D2	E2	F2	G2	H2	I2
A3	B3	C3	D3	E3	F3	G3	H3	I3
A4	B4	C4	D4	E4	F4	G4	H4	I4
A5	B5	C5	D5	E5	F5	G5	H5	I5
A6	B6	C6	D6	E6	F6	G6	H6	I6
A7	B7	C7	D7	E7	F7	G7	H7	I7
A8	B8	C8	D8	E8	F8	G8	H8	I8
A9	B9	C9	D9	E9	F9	G9	H9	I9



- ※1
 高さは9段階、1:顔付近以上 2:首付近
 3:胸のマーク付近 4:ベルトと胸マークの中間付近
 5:ベルト付近 6:ベルトと膝の中間付近
 7:膝付近 8:膝下 9:ワンバウンド又は足元付近
 横幅も9段階、A:左打席付近 B:左打席とホームベースの間
 C:右打者の外角いっぱい D:CとEの中間 E:ホームベース中央
 F:EとGの中間 G:右打者の内角いっぱい H:右打席とホームベースの間
 I:右打席付近
 ストライクゾーンは高さ4~7、横はC~Gで、3の高さをストライクとする審判もいる。

(図2) 投球位置一覧図



※2

投球位置は(図2)の太線箇所を通過した位置で表記している。

③攻撃側の作戦と打者の反応

記号	作戦
B	バント
セB	セフティーバント又は構えていない状態からの送りバント
BS	バスター
ST	盗塁(複数走者の場合は先頭に1走などをつける)
DST	ディレードスチール
ED	エンドラン
BED	バントエンドラン
BSED	バスターエンドラン
スクイズ	スクイズ
セフスク	セフティースクイズ

記号	打者の反応
B	バント構え
セB	セフティー構え
h	反応
hS	ハーフスイング
K	空振り
なし	反応なし
遅れ	構え遅れと振り遅れ
1狙	直球のタイミングでスイング
腰引	内角球で驚いた反応
待つ	早めに準備してる。直後に打つことが多い。

④球種

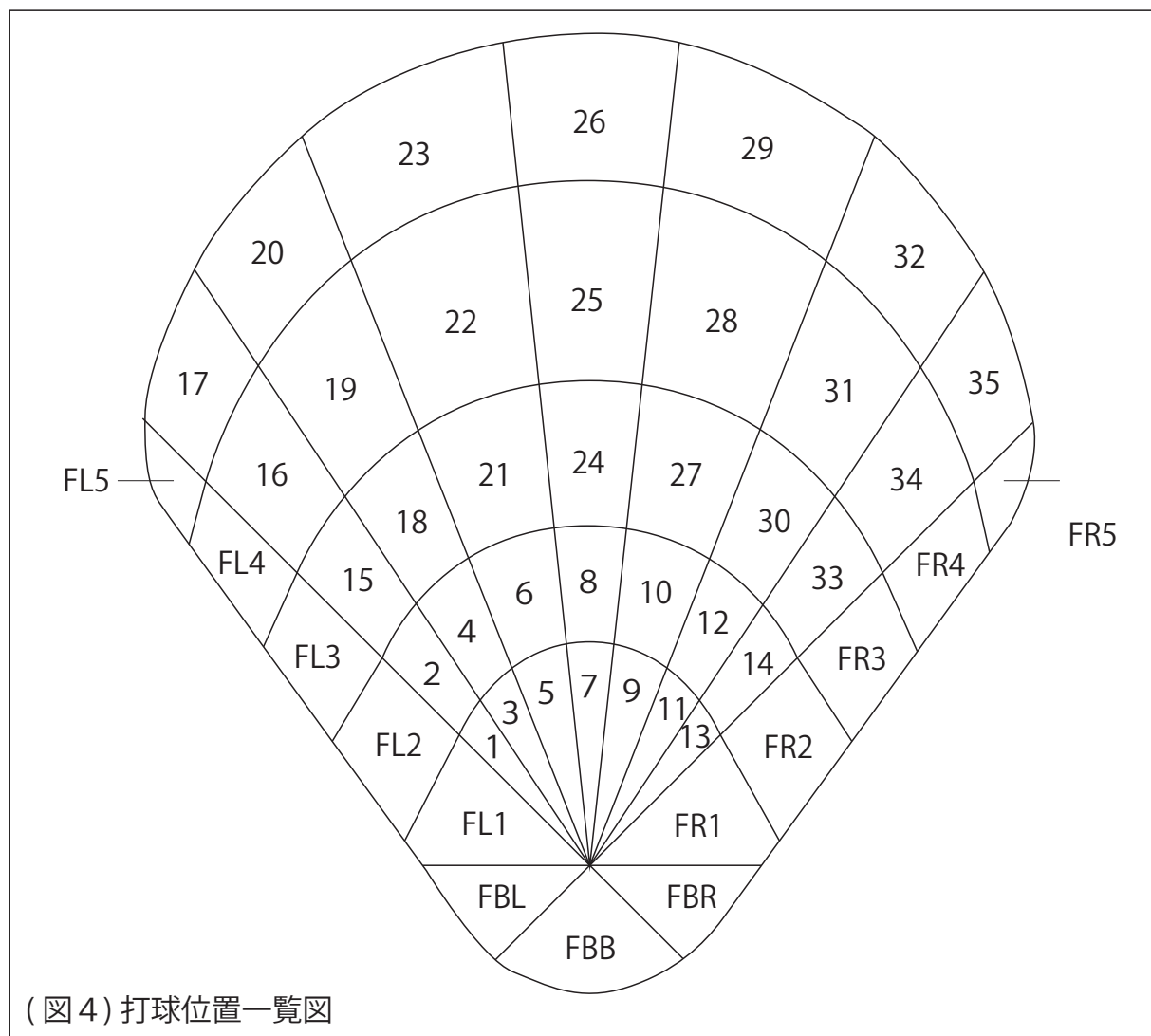
以下の8種に分類した(註1)。

記号	球種	記号	球種
1	ストレート	シン	シンカー系
ス	スライダー系	ツ・シュ	シュート系
ブ	カーブ系	チェ	チェンジアップ系
フォ	フォーク系	カツ	カットボール

(註1)特にフォークとチェンジアップの記載が試合ごとや試合中に混同している場合がある。

スライダーに関しては変化に応じてスヨヤス横(横への変化が大きい)・スタ(縦に変化する)など特徴を併せて記載している場合がある。

⑤打球の位置と質



整数はフェアゾーン、先頭がFから始まるものはファールゾーンとなる。

1～14が内野、15～35が外野である。FLはレフト方向、FRはライト方向、FBはバックネット方向へのファールを表している。

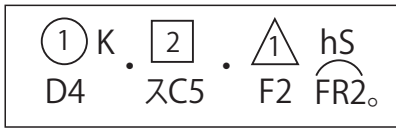
実際のスコアでは、整数の後にL(レフト側)、R(ライト側)、前、B(後ろ側)をつけ、より詳細にしている。内野はマウンドより本塁側を奇数、マウンド後ろから芝生と土との境を偶数としている。偶数の前は1・2・3の各塁より本塁方向には前を記載している。

フェンス越えの捕球不可能なフライは最後に「○」をつけている。

打球の質(ファール用)

記号	意味
⤿	フライ
—	ライナー
⤿	ゴロ

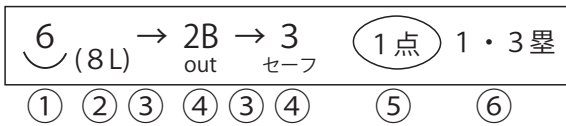
例題



- 1 球目、D4 へのストレートで空振りストライク
- 2 球目、スライダー C5 に外れボール
- 3 球目、F2 ストレートにハーフスイングで当たり FR2 へフライでフェンス越えのファール
カウント 1 B 2 S となる。

3. 打撃結果

例、無死満塁



ショートゴロ処理し、2 塁踏み 1 塁走者アウト
ファースト転送もセーフ 1 点入り
1 死 1・3 塁

- ①打球処理者と打球の質
- ②捕球位置 (図4) 参照
- ③送球又は捕球者の移動
- ④送球先又は踏んだ塁
- ⑤得点
- ⑥結果後の走者の状況

①打球処理者と打球の質

(A) 打球の質一覧

記号	打球の質
	ポテンヒット
	フライ
	ライナー
	ゴロ
	緩いゴロ
	高く跳ねたゴロ
	少 小フライが落ちたゴロ (主にバント処理で用いる)

④送球先又は踏んだ塁

(B) 打球処理者および送球先・踏んだ塁一覧

数記号	漢字記号	ポジション
1	投	ピッチャー
2	捕	キャッチャー
3	一	ファースト
4	二	セカンド
5	三	サード
6	遊	ショート
7	左	レフト
8	中	センター
9	右	ライト

記号	意味
1 B	1 塁
2 B	2 塁
3 B	3 塁
本塁	本塁

③送球又は、打球処理者の移動

送球・打球処理者の移動の記号一覧

記号	意味	記号	意味
	高い暴投		外野側へ逸れる
	高い暴投		本塁側へ逸れる
	高い送球		ゴロや捕殺、盗塁などではアウト・セーフを記載する。
	普通の送球		ゴロや捕殺、盗塁などではアウト・セーフを記載する。
	低い送球		1塁踏んでアウト
	ワンバウンド		打者タッチアウト
	ショートバウンド		2塁走者タッチアウト
	ハーフバウンド		
	ツーバウンド以上		

⑦打撃結果の記載ルールと記号

(1)、三振の場合

SK	空三振
MK	見三振
SK 2→3	空三振 転送
SK 2→打	空三振 タッチ

(2)、ヒットの場合

→ **必ず赤字で記載する。**

	センター前ヒット (ゴロで二遊間抜ける)
	センター前ヒット (内野手の頭のより少し高い)
	センター前ヒット (3m以上上がった打球)
	センター前ヒット (ポテンヒット)
	サード強襲ヒット
	左中間2塁打 (センター処理)→ショートに返球

(3)、エラーの場合

→ **必ず青字で記載する。**

(A) 捕球エラー

6 ^{FB} _(8L) (E)	ショートが弾いて投げられず
6 ^{FB} _(8L) → 3 _{セーフ} (E)	ショートが弾いて送球するもセーフ
6 ^{JC} _(8L) (E)	ショートの握り替えミス
6 ^{FB} _(8L) … 4 → 3 _{セーフ} (E)	ショートが弾いて、セカンドが捕球し1塁転送するもセーフ

(B) 送球エラー

6 _(8L) \xrightarrow{E} 3 _x … 2 (E) 2塁	ショートが暴投(高い・ライト側へ逸れる) ファースト捕れず、捕手が処理 走者2塁の状況に
---	---

(4)、四死球・犠打・犠飛の場合

→ **必ず緑字で記載する。**

(A) 四死球の場合

BB	四球
DB	死球

(B) 犠打・犠飛の場合

B ⁵ ₍₃₎ → 4 _{out} 2塁	バント、サード処理セカンドが1塁に入り 転送アウト2塁
8 ₍₂₅₎ → 2 _{セーフ} (1点) 走者なし	センターフライ、センターから捕手転送も タッチアップセーフ1点走者なしの状況に

(5)、盗塁・暴投・捕逸の場合

→ **必ず改行する。**

番・ ^① _{D4} ST 2 → 6 _{セーフ} 2塁	盗塁成功 走者2塁
↳ 番	打席続き
番・ ^② _{スC5(暴)} 2塁	暴投 走者2塁
↳ 番	打席続き
番・ ^② _{スB3(逸)} → 2塁	捕逸 走者2塁
↳ 番	打席続き

4. その他の記載事項

(A) ポジションの交代のみの場合

：()内にポジション番号を記載して→で移動先を示す。

① (1)→(3)、(3)→(1)

(B) 選手交代の場合

：基本的に (A) と同じだが、交代で試合に入った選手の情報を記載する。

① (1)→(3)、(3)→(1) 選手名

※代打・代走が守備で交代する場合は、代打代走マークを使う。

(C) 代打の場合

：打順の直後に代打マークと選手情報を記入する。

番 (H) 選手名 (打席)

(D) 代走の場合

：代打マークと選手情報を記入する。複数走者がいる場合は壘も記載する。

1 走 (R) 選手名

牽制

記号	意味
け	通常の牽制
①	速い牽制
け'	偽投
1 け	複数走者がいる場合 先頭に壘を記載する。
6 → 2 ①	2 壘牽制の場合、カ バーに入った選手を 記載する。
長間	長くボールを持った時
プレート 外し	プレートを外した時

守備位置

記号	意味
内前	内野前進
内中	内野中間
外前	外野前進
外やや前	外野やや前進
外右より	外野全体ライト寄り
右中あき	右中間が広く空く
中左より	センターがレフト側に寄る
外線キワ	ライトとレフトがラインを締める
3・5 ↓	バントの構えに対し、ファースト、 サードがチャージ

タイム

記号	意味
(ポジションT)	ポジションがタイムを取った
① 伝令	守備伝令
① 攻撃伝令	攻撃伝令